

人権週間の催し

12月4日(火)～10日(月)は「人権週間」、
12月10日～16日(日)は「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」です。

街頭啓発

啓発チラシ、グッズの配布。12月1日(土)～3日(月)、小倉駅などで。

記念講演会

講演と人権啓発映画「あした咲く」の上映あり。



▲佐藤佳弘さん



▲西原さつきさん



▲小松成美さん



▲宮澤ミシェルさん



▲綾戸智恵さん



▲荒木和博さん

12月6日。ジャズシンガー・綾戸智恵さんによる「あした咲く」の上映あり。

12月6日(木) 門司市民会館(門司区老松町) 12月6日(木) NHKサッカー解説者・宮澤ミシェルさんによる「スポーツを通じた国際交流」をテーマに、越えて。

12月5日(水) 響ホール(八幡東区平野二丁目) 12月5日(水) ノンフィクション作家・小松成美さんによる「働く幸せを実現した町工場の奇跡」。

12月5日(水) モデル・西原さつきさんによる「自分らしく生きる」こと。

12月4日(火) 武蔵野大学名誉教授・佐藤佳弘さんによる「部落差別書き込みの実態」ネット社会における人権侵害。

12月4日(火) 若松市民会館(若松駅前) 12月4日(火) 武蔵野大学名誉教授・佐藤佳弘さんによる「部落差別書き込みの実態」ネット社会における人権侵害。



▲板垣淑子さん



▲板垣淑子さん

「母親を介護して思うこと」～高齢者の人権。戸畑市民会館(戸畑駅前、ウエルとばた3階) 12月7日(金) 拓殖大学海外事情研究所教授・荒木和博さんによる「拉致被害者の人権を回復するため」に「特定失踪者家族会事務局長・竹下珠路さんによる「命のあるうちに」

人権作品展

市内の小・中・特別支援学校の児童・生徒が制作したポスター、書写、標語の入選作品を展示します。12月4日(火)～10日(月)。時間などは問を。

門司区旧大連航路上屋(門司港レトロ地区) 小倉北区二丁目(小倉北区大手町) 小倉南区小倉南生涯学習センター(小倉南区役所横) 若松区二丁目(若松区二丁目) 八幡東区二丁目(八幡東区役所4階) 戸畑区二丁目(戸畑駅前)。

北朝鮮人権侵害問題啓発週間パネル展

拉致問題のパネルや資料の展示。12月4日(火)～16日(日)の9～21時。コムシティ3階(黒崎駅西側)で。

問 保健福祉局人権文化推進課 ☎562・5010へ。

風しんに注意しましょう

現在、風しん患者が増加しています。11月4日まで全国で1692例の届け出があり、本市でも、11月9日時点で21件になりました。患者の多くは、30～50代の男性です。

風しんに対する免疫が不十分な妊娠20週頃までの妊婦が風しんウイルスに感染すると、眼や心臓、耳などに障害(先天性風しん症候群)をもつ子どもが生まれてくる可能性が高くなるため、注意が必要です。

風しんとは

風しんは、咳やくしゃみなどの飛沫を介して感染します。無症状のこともあります。成人で発症した場合、高熱や発疹、関節痛などの症状が現れます。また、脳炎や血小板減少性紫斑病などの合併症を起こすこともあります。

感染防止のポイント

風しんの予防、感染の拡大防止には、予防接種が効果的です。

①風しんの定期接種対象者(1歳児、年長児)は、無料で接種できるので、接種対象年齢の期間に予防接種を受けましょう。

②妊婦を守る観点から、妊婦の周りにいる人(夫、子ども)その他の同居家族などは風しんにかからないよう予防に努めましょう。(任意での予防接種は自己負担です。)

※対象者は、市内の医療機関で風しん抗体検査を無料で受けることができます。

市内在住の妊婦を希望する女性(妊娠中の人を除く)、妊娠を希望する女性(妊娠中の人を含む)の夫・パートナー・同居者(生活空間を同一にする頻度が高い家族など)。

※過去に風しん抗体検査を受けたことがある人や、明らかに風しん予防接種歴がある人、風しんにかかったという確定診断を受けた人は対象外です。

検査実施医療機関は市のホームページをご覧ください。予約が必要な場合がありますので、必ず医療機関へ確認のうえ受検してください。

問 保健福祉局保健衛生課 ☎582・2430へ。

●風しん含有ワクチンの定期予防接種制度と年齢の関係 (平成30年12月1日時点)

